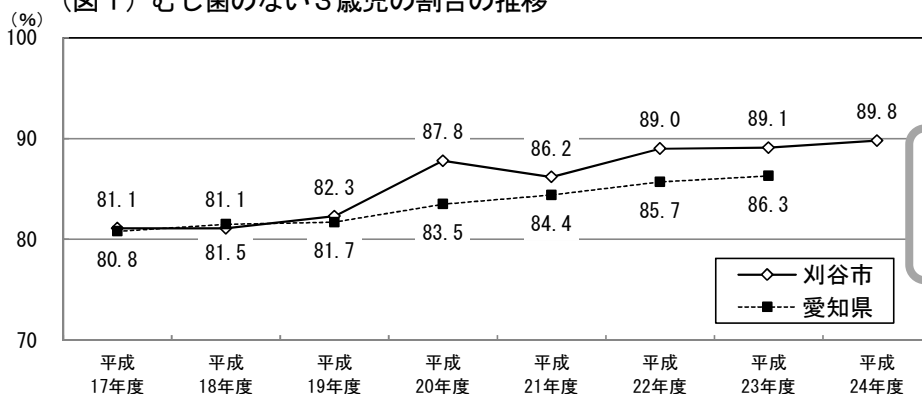


(6) 歯・口腔の健康

<現状・課題>

- むし歯のない3歳児の割合は増えています。(図1)
- 40歳で歯周炎を有する人が増加傾向にあります。(図2)
- 成人の歯科健康診査の受診は定着してきています。(図3) 今後も、定期的な歯科健康診査の受診者の増加をめざし、かかりつけ医を持つことの推進を図っていく必要があります。

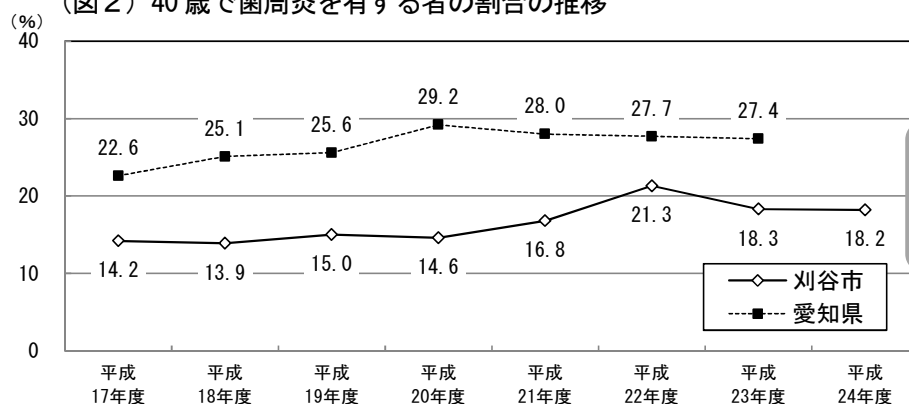
(図1) むし歯のない3歳児の割合の推移



資料：刈谷市…3歳児歯科健康診査、愛知県…乳幼児健康診査情報（平成24年度のデータなし）

愛知県平均よりもよい状況で改善しています。

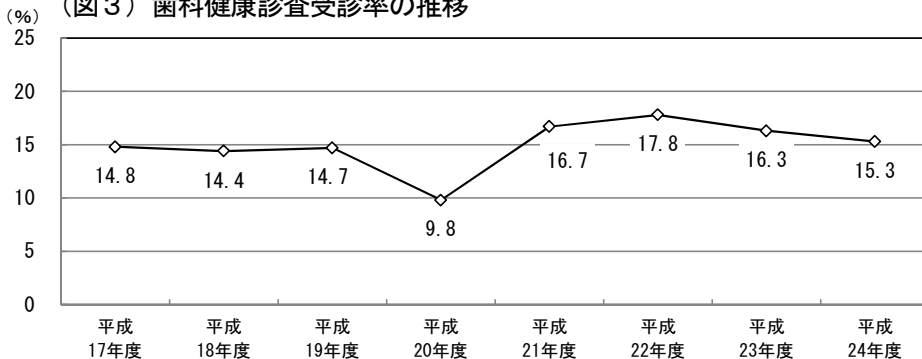
(図2) 40歳で歯周炎を有する者の割合の推移



資料：刈谷市…歯科健康診査、愛知県…歯周疾患検診実施状況報告（平成24年度のデータなし）

愛知県平均よりもよい状況ですが改善していません。

(図3) 歯科健康診査受診率の推移



資料：歯科健康診査

<基本的な考え方>

歯・口腔は、食事をしたり会話をしたりする大切な役割があります。このため、歯・口腔の健康を維持することは、生涯を健康に過ごすための重要な要素となります。

むし歯と歯周病の予防は、歯・口腔の健康を保つ基本となります。生涯を通じて自分の歯で何でもよくかんで食べることができるようにするためには、子どもの時期からの正しい歯みがき習慣・食習慣の定着や、定期的な歯科健康診査の受診が大切であることを理解できるよう、歯・口腔の健康づくりを推進していく必要があります。

重点目標

※31 8020運動の推進

目標項目	現状値	目標値
80歳で20本以上自分の歯を有する者の割合の増加	13.5% (平成24年度)	20.0% (平成35年度)

健康な歯を生涯にわたって維持できるよう、各ライフステージに応じた適切なむし歯、歯周病予防を進めることが重要です。「8020運動」をさらに推進することで、80歳で20本以上の歯を有する者の割合の増加をめざします。

健康・行動目標

むし歯・歯周炎の減少

目標項目	現状値	目標値
むし歯のない者の割合の増加（3歳児） 	89.8% (平成24年度)	95.0% (平成35年度)
歯周炎を有する者の割合の減少（40歳）	18.2% (平成24年度)	12.0% (平成35年度)

「むし歯のない3歳児の割合」は年々高まっており、また継続的に愛知県の平均を上回っています。乳幼児期は基本的な歯科保健習慣を身につける重要な時期であることから、むし歯のない3歳児の割合を増加させていくことをめざします。

本市では、歯周炎を有する者の割合が愛知県平均よりも低くなっています。しかし、歯周炎は40歳以降の歯の喪失に関わる大きな原因であるため、若い年代からの取組みを進めることが重要であり、40歳で歯周炎を有する者の割合の減少をめざします。

※31 ハチマルニイマル 8020運動：自分の歯が20本以上あれば何でもよくかんで食べ物を美味しく食べることができるということから、「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という運動。

歯科健康診査受診率の向上

目標項目	現状値	目標値
成人歯科健康診査受診率の向上	15.3% (平成24年度)	20.0% (平成35年度)

定期的に歯科健康診査を受診し、自分の歯・口腔の状態や歯を失うリスクを把握し、継続的に口腔管理を行っていくことで、歯・口腔を健康な状態に保つことができます。このため、成人歯科健康診査の受診率の向上をめざします。

環境目標

歯みがき習慣の確立

目標項目	現状値	目標値
給食後の歯みがきを実施している小学校の増加	10校 (平成24年度)	15校 (平成35年度)



むし歯や歯肉炎は、正しい口腔清掃を継続して行うことにより予防できるため、学校全体で給食後の歯みがきを実施し、習慣化を図ることが必要です。児童の歯みがき習慣の定着化を図るため、小学校において給食後の歯みがきを実施している校数の増加をめざします。

<行政の取組み>

★ 歯・口腔に関する正しい知識の普及

- 乳幼児期から高齢期に至るまで連続したむし歯・歯周病予防ができるように、広報誌、ホームページを活用した情報提供や、リーフレット等の配布を行います。
- 市民が正しい口腔清掃方法を習得できるよう、歯科健康診査や行事等を通じて歯科保健指導・健康教育等を行います。

★ 園・学校における歯科保健対策の推進

- 小学校においてフッ化物洗口を行います。
- 歯科健康診査と歯科保健指導を実施し、歯科健康教育を行います。
- 手洗い場に、歯みがき勧奨のポスターを掲示します。

★ 定期的な歯科健康診査の推進

- 広報誌、ポスター掲示、個別案内等により定期的な乳幼児歯科健康診査、妊産婦歯科健康診査、成人歯科健康診査の受診を勧奨します。
- かかりつけ歯科医を持つことを啓発します。

★ 企業等と連携した歯科保健対策の推進

- 企業等の衛生担当者を対象に、口腔衛生全般についての歯科医師による健康教育を行います。

★ 高齢期における口腔機能の低下等の防止

- 咀嚼^{そしゃく}良好者を増やすために、高齢者が利用する施設で^{※32}咀嚼力判定ガムの配布による啓発を行います。
- 口腔機能向上のために、成人歯科健康診査受診時にリーフレット等を用いて保健指導を行います。

<団体・企業等に求められる取組み>

- 「8020運動」の推進に協力します。
- 社員等の歯科健康診査の受診を勧めます。



<市民に求められる取組み>

- 子どもの頃から、よくかんで食べる習慣を身につけます。
- 正しい歯みがき習慣を身につけ、食べたら歯をみがきます。
- 子どもから大人までかかりつけ歯科医を持ち、1年に1回は歯科健康診査を受けます。

食べたら歯をみがこう！

^{※32} 咀嚼力判定ガム：かむ力を色の変化で判定するガム。